

研修 だより

糸島市立一貴山小学校
平成26年9月16日（火）
学力アップ部

4年1組の子どもたち、秋吉先生ありがとうございました！

【単元名】「しっかり守ろう！インターネットの5つのルール」

【単元目標】

○ ネットゲームやインターネットを使う時のルールやマナーについて、クイズ形式でみんな考えていき、今後インターネットを使う時、気を付けることについて知り、実践する能力を育てる。

【本時目標】

○ ネットゲームやインターネットを使う時に気を付けるべきルールやマナーに気づき、トラブルから身を守る方法やネットの向こうには、相手がいることを理解する。

【本時展開】

1 学習課題をつかむ。

(1) 事前アンケートの結果を知る。

① アンケート結果を知る

・ **インターネット経験者19名**
・ **ライン経験者3名**

② インターネットや携帯電話を使う時、ルールやマナーが必要かを考える。（自己→ペア→全体交流）

・ **(いる)**

お金がかかるようになるから
変なことになってしまうから
やりすぎることがあるから
顔を知らない人と友達になるから

(2) 本時の学習のめあてをつかむ

インターネットやゲームをする時、気をつけるルールやマナーについて知り、これからどんな使い方をしたらいいのかを考えよう。

2 Yahoo! きっずガイドの「インターネットの5つのルール」を利用して、インターネットや携帯電話でのルールやマナーを知る

(1) 5つのルールを知る。

① 知らない人に自分の名前や住所などを教えない
② 知らないサイトには注意する
③ 相手を思いやること
④ 情報の発信には責任をもつこと
⑤ 使いすぎには注意すること

3 「マンガで学ぼう！」のサイトから、インターネットの陰の部分を知る。

○ 「払わないとダメ？」
○ 「ストップチェーンメール」

4 本時学習の振り返りをする。

・ **ルールを守ろうと思った。**
・ **これからは、使いすぎには注意したい。**
・ **知らないサイトに行かないようにしたい。**



【アンケート結果から課題を考える様子】



【ペア交流の様子】



【全体交流の様子】

（秋吉先生の自評）

- 子どもたちの実態から授業を組み立てた。その為にアンケート調査を行った。そこでは、ゲームを多くの子がしていることや「ゲームをするルールがない15人」が問題であると思った。
- これから目にするであろう「チェーンメール」等にふれたかった。
- 「知らないサイトに行くとお金がかかる」に気づけたことはよかった。

【授業を見られた先生方より】

- 5つのルールの中から、子どもの実態にあわせて、焦点化することもよかったのではないかな。
- ゲームをしている子が多くいた。保護者にも伝えていきたい。また、教師が情報に対してついていけないので、アンテナをはることが大切だ。
- 子どもたちの興味・関心に応じた指導内容であった。
- 学校だけではなく、保護者や地域と連携して、情報教育を進めて行く必要がある。
- 低学年から系統的に計画的に指導していくことが大切である。ネットのプラス面とマイナス面と両方伝えていくことも大切である。また、「オンラインゲーム」と「インターネット」のちがいもある。
- 最新の情報を教師自身が知っておくことが大切である。
- 子どもの実態からスタートされてあることや電子黒板の有効活用、そして、子どもの本音を引き出す技術等すばらしかった。
- アンケートの結果をもとにネットやゲームのよさや問題点を話し合い、5つのルールにつながる問題点を具体的に提示することで、「このままではいけない。ルールをつくろう」という課題意識をもたせると、さらに追究する意識も高まり、交流も活発になっただろう。

【教頭先生より】

- 学校としての情報教育の年間指導計画が大切である。伝えたいこと、教えたいことはたくさんあったが、系統的に指導していくことが大切である。
- 子どもたちに「何を考えさせ、何を教えるのか」は、やはり、子どもの実態からスタートすることが大切である。
- インターネットや携帯電話を「活用している、していない」に関わらず、モラルを教えるとは、「ものの考え方やとらえ方」を教えることである。その為、未経験であっても指導していく必要がある。

【校長先生より】

- 実態アンケート調査や秋吉先生の上手な誘導により子どもたちの生活の実態がよく表れていた。
- 「ルールがなかったらどうなるの？」を問うことで、子どもに切実感をもたせる必要もあった。
- 電子黒板と黒板の併用がすばらしかった。黒板には、思考の過程を表現し、電子黒板には、必要な情報を表現する。
- 年間指導計画にリテラシーとモラル教育を位置づけ、低学年から系統的に指導していくことが、現在の状況からは、求められる。



【電子黒板の有効活用の様子】



【ちがいを感ずる様子】



【ペア交流の様子】